

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 26-01)

1 バヌアツのナプアット内務大臣は、3月13日の記者会見で、バヌアツ警察（VPF）が北エファテ島のハバナ港でヨットから1.6トンのコカインを押収し、英国人とリトアニア人の男2名を逮捕したことを認めた。同船は同月1日に不法入国後、悪天候で座礁していた。当局は、この薬物が数週間前にフィジーとバヌアツ間の海域に投下されたものと同一の荷であるとみて、捜査を続けている。

[原文](#)

(16th March 2026, PACNEWS)

[原文](#)

(21st March 2026, The Fiji Times)

2 ソロモン諸島のマネレ首相は、3月16日、副首相を含む閣僚10名が辞任したことを認めた。辞任した閣僚には保健・医療サービス大臣や司法・法的問題大臣らが含まれる。アゴバカ外務・貿易大臣は、マネレ首相の「OUR党」内での不信感や閣僚間の対立を理由に挙げ、自身が次期首相候補として「国民第一党（PFP）」などの連合を率いる意向を示している。

[原文](#)

(16th March 2026, PACNEWS)

[原文](#)

(16th March 2026, RNZ)

[原文](#)

(17th March 2026, RNZ)

3 ニュージーランドは、サモアやトンガと連携し、太平洋を「スーパーハイウェイ」として利用する南米からの薬物密輸阻止を強化する。NZのラクソン首相とサモアのラアウリアレマリエトア首相は、3月16日、警察及び税関の業務に係る連携・協働や情報共有促進に関する覚書に署名した。これは、地域で深刻化するコカインやメタンフェタミンの流入と、それに伴う腐敗の防止を目的としている。

[原文](#)

(17th March 2026, RNZ)

[原文](#)

(17th March 2026, RNZ)

[原文](#)

(17th March 2026, SPINOFF)

4 3月10日から12日にかけて、アジア海賊対策地域協力協定（ReCAAP）情報共有センター（ISC）は、シンガポールで第20回理事会を開催した。理事会はISCの取組に触れつつ、特にインドネシア当局による2025年7月と8月の犯人逮捕を称賛した。また、情報共有、能力構築、協力的枠組みの3つの柱における2025年度の成果を評価するとともに、2026年度の事業計画を承認した。加えて、航行安全を維持するための行動計画やパートナーとの連携拡大を含む2027年度から2036年度までの「10年ロードマップ」を承認した。

[原文](#)

(16th March 2026, Safety4Sea)

5 大陸棚限界委員会（CLCS）は3月13日に第66回会期を終了した。会期中、フィジー・ソロモン諸島・バヌアツによる北フィジー海盆地域の共同申請、フィジー・ソロモン諸島によるメラネシア・ボーダーランドの共同申請が審議された。そのほか、パラオを含む各国からの申請を検討したほか、イエメンの修正申請を検討するための小委員会設置に合意した。

[原文](#)

(18th March 2026, PACNEWS)

6 3月17日、オーストラリアとニュージーランドの両政府は年次の外務・防衛閣僚協議を行い、軍事協力を強化する「ANZAC 2035 ビジョン」を発表した。イランでの紛争や太平洋の不安定化を背景に、両国軍の相互統合や防衛装備品の共同調達を推進する。太平洋地域では、組織犯罪や薬物密輸対策、自然災害対応での連携を深める方針だ。また、イランによるホルムズ海峡封鎖に伴う石油供給への影響についても協議が行われた。

[原文](#)

(18th March 2026, PACNEWS)

7 米国政府は、中国が支配する重要鉱物市場への対抗策として、太平洋地域での「深海採鉱外交」を拡大している。米務省によると、ランドー国務副長官は今週、ナウルのアデアン大統領と会談し、国際海底機構（ISA）が管理する深海域での鉱物資源開発のほか、太平洋地域での不法な活動の抑制、投資機会の拡大等について話し合った。また、トンガやクック諸島とも海洋科学研究や供給網強化の枠組みに合意し、資源開発の加速を目指している。

[原文](#)

(19st March 2026, Pacific island Times)

8 マーシャル諸島のアルノ環礁ウリエン島に、薬物密輸用とみられる正体不明の船が漂着した。過去 6 週間で同様の船が 2 隻確認されており、今回発見された船の前部は強固に密閉されている。住民がジャックハンマーで開封を試みたが失敗し、現在は海上警察による再調査が予定されている。

[原文](#)

(20th March 2026, The Marshall Islands Journal)



A possible drug-running boat that washed up on Ulien Island, Arno.

Alien boat found in Ulien

This is one of two apparent drug-running boats that washed up in Arno over the last six weeks. It is located on Ulien Island.

Although law enforcement officials said the boat was checked by Sea Patrol officials, people on Ulien reported to Journal last week that “the interesting part is

the front half of the boat, it’s still solid sealed.”

They indicated that Ulien community members tried to use a jack hammer to open it, but the fiberglass was too strong.

“There’s got to be something in it but only a grinder can open that up,” the person said.

A Majuro law enforcement official said there were plans for Sea Patrol to possibly revisit the boat at a later date.

The question seems to be who will learn what, if anything, is in the boat’s forward hold first: People on Ulien or RMI law enforcement?